

An architectural rendering of the Yasuda Sequence Tower, a modern building with a prominent feature of green terraces on its upper floors. The terraces are filled with various plants and trees, creating a lush, vertical garden. The building is situated in an urban environment, with other buildings visible in the background. In the foreground, there is a landscaped plaza with a brick-paved walkway, trees, and people walking and sitting on benches, suggesting a vibrant, community-oriented space.

# JINS

## Sustainability Report 2024

Yasuda Sequence Tower.1,Kanda Nishiki-cho 3-chome,  
Chiyoda-ku Tokyo, Japan 〒101-0054  
JINS HOLDINGS Inc. [jinsholdings.com](http://jinsholdings.com)

# Table of Contents

• 会社概要	P04-
• サステナビリティビジョン	P08-
• トップメッセージ	P10-
• マテリアリティ	P12-
• 2050コミットメントと2030KPI	P13-
• サステナビリティ推進体制	P15-
• 外部からの評価	P16-
• 今年のトピックス	P17-

## 編集方針

JINSは、サステナビリティビジョンに「アイウェアを通して、未来の景色を変えていく。」を掲げ、すべての人の視線の先に広がる未来の景色を、サステナブルでより良いものへと変えていくべく、様々なミッションに取り組んでいます。JINSでは、私たちの取り組みをよりわかりやすくお伝えするために、2021年からサステナビリティレポートおよびサステナビリティデータブックの発行を開始しました。JINSのサステナビリティに関する考え方や目標、各種取り組みを紹介することで、お客様、株主の皆様、お取引先様、地域社会、従業員などのステークホルダーの皆様と深いコミュニケーションを図り、私たちのサステナビリティや企業姿勢についてよりご理解いただく目的で編集しています。

## レポートの報告対象範囲

対象範囲	株式会社ジンスホールディングスと株式会社ジンスを対象範囲としています。
対象期間	年度は、会計年度である9月から翌年8月を対象としています。 例えば、2024年度は、2023年9月から2024年8月を対象としています。個別の対象期間を定義している場合には、各掲載場所にその旨を明示しています。2024年度（2023年9月1日から2024年8月31日）の活動を中心に、それ以前からの取り組みや、直近の活動報告も一部含んでいます。
参考ガイドライン	・気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) ・環境報告ガイドライン（2018年版）
報告サイクル	報告は年次（毎年3月）での更新を原則とします。

## WEBサイト

JINSのサステナビリティに関する詳しい情報はこちらからご覧ください。

WEBサイト：<https://jinsholdings.com/jp/ja/sustainability/>

## Our Vision

# Magnify Life

## まだ見ぬ、ひかりを

いつもと世界が違って見える。

**JINS**は、そんなきっかけを人々に提供したいと願う。

人々の生き方そのものを豊かに広げ、

これまでにない体験へと導きたい。

だからこそ私たちは、まだ誰も知らない可能性にひかりを当て、

「あたらしい、あたりまえ」を創っていく。

まだ見ぬひかりが未来を照らせば、世界はもっと、明るくなる。



# Company Profile

商号 株式会社 ジンズホールディングス

東京本社 東京都千代田区神田錦町三丁目1番地 安田シーケンスタワー

前橋本社 群馬県前橋市川原町二丁目26番地4

代表者 代表取締役CEO 田中 仁

設立 1988年7月

資本金 3,202百万円

上場市場 東京証券取引所 プライム市場  
(証券コード) (3046)

事業内容 下記事業を営む子会社等の事業活動の支配及び管理  
アイウェアの企画、製造、販売及び輸出入 ウェアラブル  
端末およびそれらの関連商品の企画、開発、製造、加工、  
販売、賃貸、保守および輸出入 医薬品、およびそれらの  
関連商品の販売および輸出入

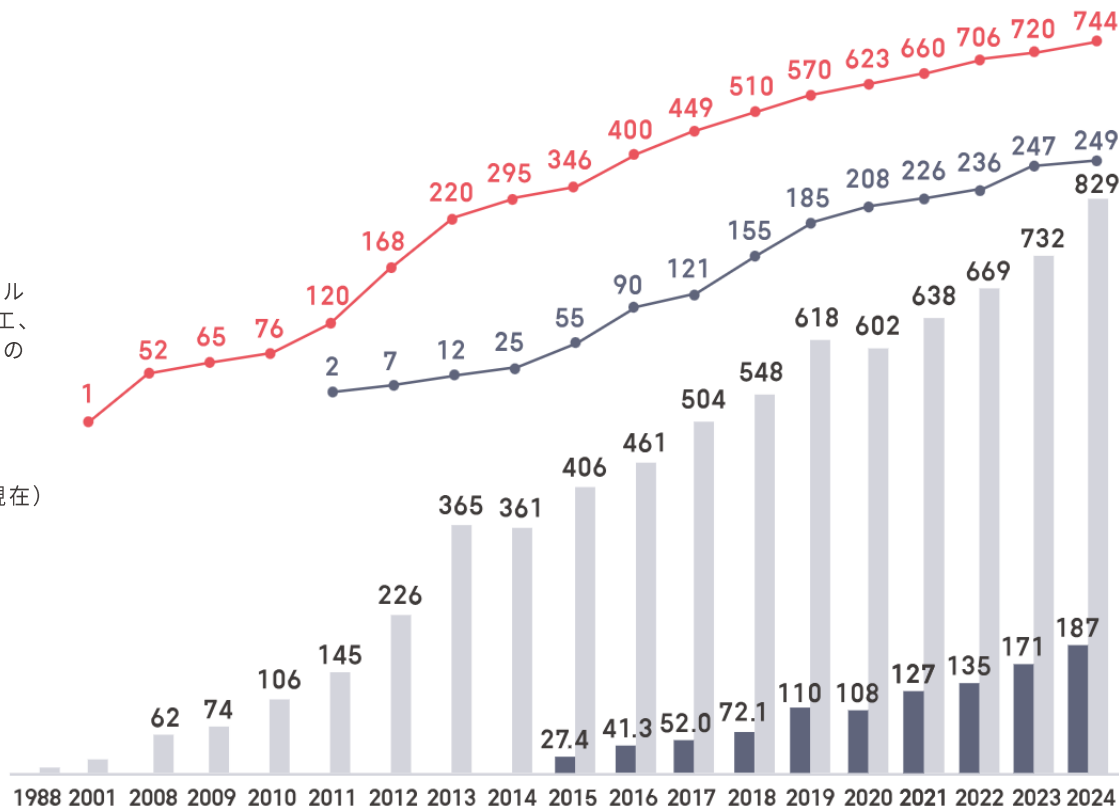
売上高 82,999百万円 (2024年8月期実績)

従業員数 3,485名[1,698名] ([外書]は準社員等/2024年8月末現在)

グループ企業  
国内企業 **JINS JINS norma**  
株式会社ヤマトテクニカル

海外企業 睛姿(上海)企業管理有限公司  
(海外JINS事業) 吉姿商貿(瀋陽)有限公司  
JINS Eyewear US, Inc.  
台灣睛姿股份有限公司  
JINS Hong Kong Ltd.

- 海外JINS店舗数
- JINS店舗数 (FC店・海外点を含む)
- 海外売上高 単位=億
- 売上高 (連結ベース) 単位=億



# Product & Experience

業界の常識を覆すアイウェアと  
驚きの体験をすべての人へ。



## Airframe

空気のように、気分も軽くなるかけ心地

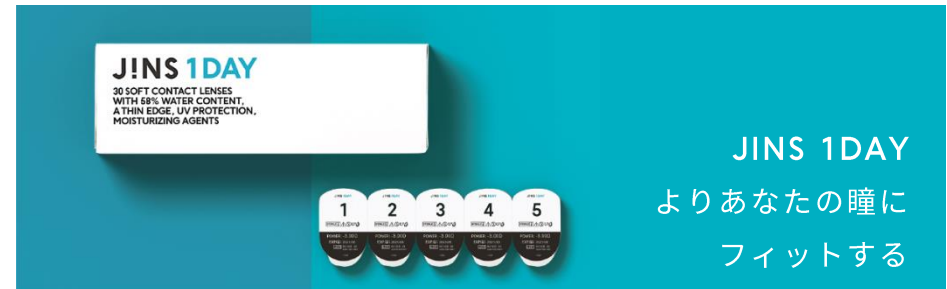
「メガネは窮屈で重い物」というイメージを覆す、今までにない軽いかけ心地を追求したJINSの代表作。軽さだけでなく、かけ心地・安全性・デザイン・低価格にもこだわり、日本に軽量メガネという新たなジャンルを確立させました。



## JINS SCREEN

「機能性アイウェア」カテゴリーの誕生

2010年代初頭、学術研究がはじまったばかりのブルーライトに着目して市場をゼロから切り開き、メガネをかけない人にも必要とされるメガネが誕生。メガネに視力矯正以外の価値を付加したこの商品を機に、JINSは「機能性アイウェア」という新たな市場を開拓しています。



JINS 1DAY  
よりあなたの瞳に  
フィットする

JINSでコンタクトを扱ってほしいという、お客様からの高いニーズを受け、「JINS 1DAY」は誕生しました。瞳にフィットするよう設計し、快適なつけ心地を実現。コンタクトレンズの「あたらしい、あたりまえ」をつくります。

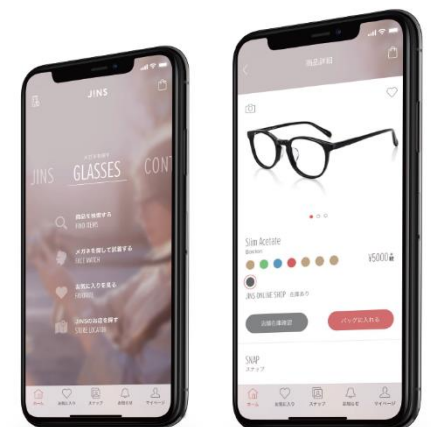
## JINS APP

メガネをもっと、楽しく、便利に、お得に

店舗での購入体験をもっと快適に楽しんでもらいたい。そんな想いから様々なサービスを1つのアプリに集約。保証書や度数情報の管理、メガネの試着と似合い度判定、会員限定クーポンなど、今よりもずっと便利に、お得に購入ができるオリジナルアプリです。

JINS APPの会員数は2024年8月末現在で約1,521万人となりました。度数情報の管理やメガネの似合い度判定などのアプリ内サービスを、より多くの方にご利用いただくことでデータベースをさらに強化。お客様がもっと快適に楽しめる購入体験を生み出していきます。

※2024年8月時点



## 高品質、その先へ MORE THAN GOOD

### 世界品質の薄型非球面レンズ

JINSのメガネは、世界シェアNo.1レンズメーカーのエシロールグループや、大手HOYAグループなどの薄型非球面レンズを標準搭載。球面レンズと比べて歪みが少なく、視界がクリアなうえ、レンズの厚みを気にすることなく好きなデザインのフレームを楽しんでいただけます。



### 最高の掛け心地と品質を求めて

快適な掛け心地・品質を実現するため、設計へのこだわりのほか、形状や素材も改良を加えて独自に開発。細かなパーツも決して手を抜きません。また、ISOの国際規格、旧JIS規格やJINS独自基準を含め、最大20項目におよぶ検査を行い、「妥協0」の品質を提供します。



## 適正価格、その先へ MORE THAN FAIR PRICE

### SPA方式

JINSは、企画・生産・流通・販売までを自社で一貫して行うSPA方式を採用しています。それにより、中間マージンやブランド料金といった無駄なコストを大幅カット。また、お客様の声を反映した製品づくりが可能となり、高品質なメガネを適正価格でお届けできます。



### 標準クリアレンズの追加料金は¥0※です

多くのメガネブランドでは、度数を強く、レンズを薄くすれば、レンズの代金は上がっていくもの。

しかしJINSでは、近視・乱視の強い方でも、どんな度数でも、追加料金はいただきません。

※屈折率1.60の単焦点クリアレンズ



## 速さ、その先へ MORE THAN FAST

### 最短30分でお渡し

JINSは店舗オペレーションの効率化により即日お渡しを実現。「メガネは受け取るまでに時間がかかるもの」というイメージを刷新しました。1.メガネを選んで受付 2.視力測定 3.会計の簡単3ステップ。会計後、最短30分でお渡しが可能です。（レンズ在庫がある場合）。



### オンラインショップ

オンラインショップは店舗以上のバリエーションで商品を取りそろえております。商品は自宅、コンビニに加えJINS店頭でもお受け取り可能。全国の店舗でアフターサービスを受けることができます。さらに、お客様の環境に応じた、多彩な決済方法を導入しています。



## 新しさ、その先へ MORE THAN NEW

### 産学連携からメガネの可能性を探る

R&D（研究開発）室では、パートナー企業や大学教授、専門医と協力しながら「これからの商品・サービス」を生み出す研究を続けています。産学連携プロジェクトから生まれた代表作、「JINS SCREEN」は、教育現場や医療機関、企業などでも導入が進められています。



### 新たな素材を探して

ナイロン樹脂「TR-90」との出会いから「Airframe」が生まれたように、新たな機能を持つメガネを生み出すためには新素材の開発が必要不可欠です。JINSはメガネの未来を切り拓く素材を探して、常に情報収集のアンテナを広げています。





# Sustainability Vision



## Sustainability Vision

# アイウエアを通して、 未来の景色を変えていく。

いいアイウエアとは

「未来の景色を変えるもの」でなくてはならない。  
それがJINSの信念です。

JINSのつくるアイウエアをかけた方の、その後の人生はもちろんのこと、  
この産業に携わるすべての働く人々、究極的にはアイウエアを使わない人々まで。  
そのすべての視線の先に広がる未来の景色を、サステナブルでより良いものへと作り変えていく。

そのために様々なミッションに取り組んでいます。

例えば、環境負荷を減らす、循環型アイウエア製造への挑戦。

地域共生と活性化や、子どもたちへの支援。

目の健康を守るための、光の研究とその啓発活動。

視力だけでなく、体の姿勢や心の健康までをケアするセンシングデバイスの製造。

そして、近視を矯正するだけでなく先手を打って「予防する」医療機器の開発まで。

世界人口の1/3が近視といわれ、その社会的コストが増え続けている時代に。

アイウエア産業がイノベーションを起こせば、社会全体の行く末を変えるインパクトがあります。

高品質を、最適な価格で、必要なすべての人のもとに。

その想いで、業界のあたりまえの景色に風穴を開けた創業時から、

JINSはアイウエアを通して社会の先を見つめ、常識を覆しながら、絶えず行動を続けています。

Magnify Life

まだ見ぬ、ひかりを

人類の豊かさが、その先に広がっていると信じて。



# TOP Message



## アイウエアを通して、 未来の景色を変えていく。

代表取締役  
CEO

田中仁

感染症、気候変動、資源枯渇、人種問題、経済格差。いま、地球上のあらゆる場所では、いくつもの危機にさらされています。それらの課題は、私たち人間に「変われ」というメッセージを投げかけているように思えてなりません。

JINSが掲げる、「Magnify Life-まだ見ぬ、ひかりを」というビジョン。そこにはすべての人の人生が豊かに広がることを願い、そのきっかけを私たちが提供したいという、強い思いが込められています。このビジョンを本当の意味で叶えるためにも、「JINSにとってのサステナビリティとは?」という問いを、私は常に自分自身に投げ続けてきました。

『アイウエアを通して、未来の景色を変えていく』。これが、このたび私たちJINSが定めたサステナビリティビジョンです。と同時に、JINSにとって最も重要だと考える6つのマテリアリティも設定しました。環境負荷の削減、バリューチェーンに関わるすべての人々の暮らしや人権への配慮まで、そこには様々な項目が掲げられています。

### 6つのマテリアリティ

- ・環境への配慮
- ・人的資本の最大化と人権の尊重
- ・ヘルスケア・イノベーション
- ・安心の製品とサービス
- ・社会への貢献
- ・健全なガバナンス

社会課題を解決する。それは簡単にこなせることではありませんし、長い時間を必要とするでしょう。けれど、「近視の進行抑制に向けた光の研究」や「ヒトの心と身体を分析する商品の開発」など、私たちはこれまでに何度もアイウエアの常識を覆し、その可能性を広げてきたという自負があります。だからこそ、サステナビリティに向かう姿勢も、従来の考えにとられることなく、新鮮な視点をもって、JINSだからこそできる解決の仕方を模索していきたい。アイウエアの可能性を追求し、その価値を世の中に還元していきたい。そう、強く思うのです。

事業活動そのものが、社会の役に立っているのか。商品やサービスが、社会が抱く課題解決に貢献できているのか。常に、その厳しい視線を自らに向けること。JINSがあることでこの世界が少しでも生きやすく、もっと鮮やかな場所になることを願い、次々と「あたらしい、あたりまえ」を創り続けていきたい。

これからのJINSに、ますますご期待ください。

# TOP Message

## 未来の景色を 変えていくために。

### ビジネスを通じた社会価値創出へ

JINSのサステナビリティ推進担当役員の田中亮です。JINSとしてのサステナビリティビジョンである「アイウエアを通じて、未来の景色を変えていく。」の実現に向けて、リーダーシップをとり進めてまいります。気候変動などの環境問題、DE&Iやヘルスケアなどの社会課題は、一筋縄で解決できるものではありませんが、JINSとして真摯に向き合い、既存の枠組みにとらわれず、ビジョンと計画を持ち、確実に取り組んでいきます。そして、それらをJINSの中心事業であるアイウエアを起点としたプロダクトやサービス作りを通じて行っていくことが重要であると認識していますので、JINSだからこそできる事業との両輪として、サステナビリティ推進への挑戦を続けていきたいと考えています。

### 中長期目標とコーポレートガバナンス

JINSでは現在、SDGs（持続可能な開発目標）の達成年である2030年に向けて、2030目標の設定、サステナビリティ推進体制の強化を行っています。2030目標設定に合わせて推進活動におけるロードマップ策定や、社会の大きな変化に対応するために、緊急時や災害時におけるBCP（事業継続計画）も進めています。JINSでは、「アイウエアを通して、未来の景色を変えていく。」というサステナビリティビジョンを定めています。創業時から業界の「あたらしい、あたりまえ」に挑んできたJINSとして、アイウエアを通して社会の先を見つめ、これからも常識を覆しながら絶えず行動を続けていく姿勢を、あらゆるステークホルダーの皆様と共有し、実現に向けてともに歩みを進めていくためです。また、組織が正しい方向へ向かうためのコーポレートガバナンスも重要視しており、「企業の持続的な成長・発展を目指して、より健全かつ効率的な優れた経営が行われるよう、業務執行を適切に監督する仕組み」としてコーポレートガバナンスを定め、あらゆるステークホルダーの信頼を高め企業価値の向上を追求することを目的として、経営体制を強化しその監視機能を充実させるための諸施策を推進していきます。

### マテリアリティの特定

JINSでは、サステナビリティのマテリアリティとして「環境への配慮」「健全なガバナンス」「安心の製品とサービス」「人的資本の最大化と人権の尊重」「ヘルスケア・イノベーション」「社会への貢献」の6分野を特定しており、今後注力して戦略的に進めていきます。これらのマテリアリティは、ESG（環境・社会・企業統治）やSDGsなどのグローバルイシューを中心に様々な社会課題を洗い出し、JINSおよびステークホルダーや社会全体にとっての重要性を考慮して策定しました。たとえばマテリアリティの「環境への配慮」では、環境負荷を減らすために、資源循環型社会の実現に向けて、サステナブル素材を使用したアイウエアの製造を進めています。また、アイウエアと関連の深い「ヘルスケア・イノベーション」の領域では、目を守るための光の研究とその啓蒙啓発活動や、視力だけでなく、体の姿勢や心の健康までをケアするセンシングデバイスの製造。そして、近視を矯正するだけでなく先手を打って「予防する」医療機器の開発など、アイウエアを起点にヘルスケア領域での様々なイノベーションづくりに挑戦していきたいと考えています。さらに「人的資本の最大化と人権の尊重」の領域では従業員のDE&Iを進めるため、国籍・人種・民族・社会的身分・宗教・信条・年齢・性別・性自認・性的指向・心身の障害・家族・キャリア・経験・働き方など、個人があたりまえに持つ違いに関わらず、JINSで働く多様な人材が生き生きと働くことのできる環境づくりを進めています。一人ひとりがその能力や特性を最大限に活かすことで、更なるイノベーションや価値創造につなげていきます。

### ステークホルダーの皆様との関わり

JINSは、ステークホルダーの皆様提供できる価値を最大化すべく、事業に取り組んでいます。そのために、皆様からのご期待やご意見にしっかりと耳を傾け、JINSが環境・社会に及ぼす影響をともに考えさせていただき、歩みを進めていくことが重要であると認識しています。また、経営戦略と社会的要請の方向性を合わせた事業そのもので、あらゆるステークホルダーの皆様へ貢献し、信頼関係と協働関係を構築していきます。今後も「あたらしい、あたりまえ」に挑み、JINSの価値を社会に示せるよう、ステークホルダーの皆様との関わりをより深め、新たな価値の共創を目指すとともに、持続可能で豊かな社会の実現に向けて、たゆまぬ努力を重ねていきます。

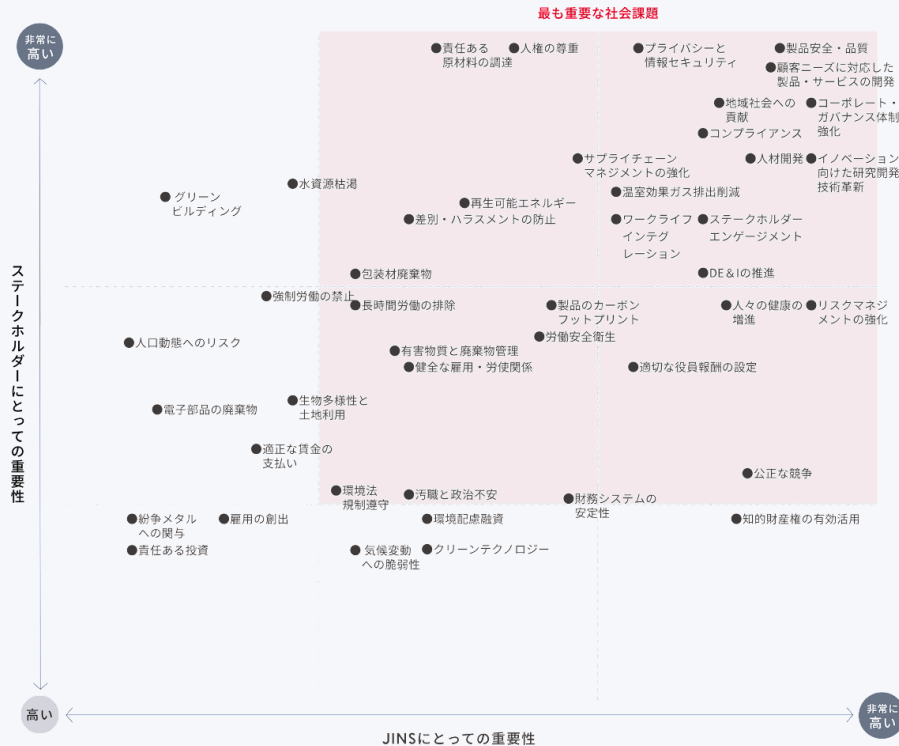
取締役副社長  
サステナビリティ推進担当役員  
田中亮



取締役副社長  
サステナビリティ推進  
担当役員  
田中亮

# Materiality

JINSは2021年にマテリアリティを特定し、取り組みを進めてきましたが、社会情勢や事業を取り巻く環境が近年大きく変化していることから、自社の戦略等を踏まえ、2024年にマテリアリティを見直しました。特定した6つのマテリアリティごとに目標設定、進捗管理、評価、改善プロセスを実施し、部門及び従業員にサステナビリティ活動を展開しています。マテリアリティは、社会課題の洗い出し・社会課題の優先順位付けとマテリアリティとしての整理・マテリアリティに紐づくKPI/中期目標の設定・外部有識者による妥当性の確認・経営層の承認/マテリアリティの特定というプロセスに基づいています。今後も社会や事業環境の変化に合わせて、定期的にマテリアリティを見直していきます。



## 2050 COMMITMENT

循環をつくれ。  
未来、消費をなくせ。

この地球上にあるいくつかの環境問題。その根本には、人間の経済活動があります。ならば、消費というもののあり方に変革を起こせないか?環境問題にこそ、JINSらしい挑戦の姿勢で取り組んでいきたいと考えます。まずは、カーボンニュートラルの実現。グループ内のCO2排出を実質ゼロとするため、再生可能エネルギー比率を100%へ。一方、プロダクトについては、廃棄商品ゼロを推し進めると同時に、100%循環型のアイウェアへとシフト。環境についても「あたらしい、あたりまえ」を生み出すべく、私たちはトライシ続けます。

近視をなくす。  
目を通じた、  
幸福の追求を。

この地球上の近視人口は増加の一途をたどり、2050年には50億人に達すると言われています。近視を、ゼロにすること。それは、長年、近視矯正のアイウェアにたずさわってきた私たちの、責任であり、使命です。近視の抑制や予防にかかわる研究開発に取り組み、近視ゼロに向かうサービスプラットフォームへとビジネスを転換させること。目を通じたWell-Beingを「Well-Seeing」と位置づけ、近視抑制技術の研究や心身の健康をめざすアイウェアの開発だけにとどまらず、優れた「見る」体験の提供など、「目」を通して、世界中の人々に驚きと喜びをお届けします。

企業。地域。地球。  
一人ひとり異なる  
個性が、それぞれに  
輝く場所であれ。

性別、国籍、障害。個々の意思や特性が蔑ろにされることなく、それぞれが自分らしく生きられる、働ける。私たちはこの地球に在籍する一企業として、そういった社会に寄与し続けたいと考えます。そのためにもまず、JINSで働くすべての人の幸福を追求すること。公平な活躍の機会と人権の尊重。ダイバーシティ&インクルージョンの考えが、すみずみまで行き渡る組織をめざします。

善を生む組織であれ。

強固なガバナンスを構築するためには、なによりも正直さ、誠実さが欠かせません。善を生む組織。すなわち、善人が集まり、育ち、そこに報いる組織であること。最新の課題にいち早く対応し、高いリスクマネジメントを担保するためには、なによりその観点が必要だと考えます。多様性に富み、互いを尊重し合う。誰もが本音で話せる、風通しよい環境を構築すること。JINSの、進むべき未来はそこにあります。

2030

2050

# 2030 GOAL

	KPI項目	2030目標	2024実績
環境への配慮	気候変動への対応	温室効果ガス(CO2)排出の削減 SCOPE1+2 42%削減(2020年比) SCOPE3 25%削減(2022年比)	温室効果ガス(CO2) 排出の削減 SCOPE1+2 1%増加(2020年比) SCOPE3 については、現在算定中(2025年4月 下旬更新予定)
		国内ロードサイド・路面店舗の 再生可能エネルギー利用率50%	エネルギー利用量の算定方法を検討中。 再生可能エネルギー導入店舗数の状況は以下の 通り。 再エネ導入店舗数合計：22店舗(85店舗中) <内訳> ・再エネ電力プラン：2店舗 ・太陽光発電設備(自社所有)：5店舗 ・太陽光発電設備(PPA)：15店舗
	資源循環型社会の実現	アイウエア(樹脂製品)の50%を サステナブル素材に	アイウエア(樹脂製品)のサステナブル素材比 率：30%
人的資本の最大化と人権の尊重	従業員のDE&I	女性管理職比率30% 女性店長比率50%	女性管理職比率：20% 女性店長比率：29%
		育児休暇取得率男女ともに100%	育児休暇取得率 男性：70%、女性：100%
	人材開発	人材の国際間異動の推進	人材の国際間異動件数：10件
	サプライチェーンにおける 人権尊重	新規サプライヤーと主要サプライヤーへの自社 専門部署及び第三者によるモニタリングの徹底 (100%)	新規サプライヤーと主要サプライヤーへの自社 専門部署及び第三者によるモニタリング率： 100%
サプライチェーンでの重大事故ゼロ		サプライチェーンでの重大事故件数：0件	
社会への貢献	目の健康の啓発や優れた見 る体験の創造と機会の提供	見る育やアート支援など、 人々の見る目を養う活動の継続的な実施	・見る育プロジェクト JINS×Tech Kids School を実施 ・「寝る育」Iを開始し、睡眠について学ぶ機会 を提供
	地域共生社会への貢献	店舗を通じた、地域共生活動の継続的な実施	・“見る”たのしさを体感する「ミルイクアート まつり vol.1」を実施。 ・子どもたちが小売業の仕組みを体験できる 「こども起業チャレンジ」を開催。 ・JINS PARKを地域コミュニティとともに活用。 週末に多彩なイベントを多数開催。

	KPI項目	2030目標	2024実績
ヘルスケア・イノベーション	近視進行を予防する 技術/商品/サービス開発	バイオレットグラスの開発/普及 による近視拡大への歯止め	バイオレットグラス(仮)の検証的臨床試験を 実施中。
	イノベーションによる 新たな価値創造	新しい価値を提供する アイウエアの開発	社会課題である「睡眠の質低下」解決を目指し、 産学連携により研究を支援。2024年2月にJINS SCREEN FOR SLEEPを販売開始。
安心な製品とサービス	徹底した品質管理による高 品質な製品の提供	品質管理体制の高度化と モニタリングの実施	製品の品質維持のため、昨年度設定した継続販 売可否基準(不良率が一定以上に達した場合に 販売を停止する基準)に基づき、2024年度もモ ニタリングを継続。
	顧客価値を高める サービスの提供	製品・サービスに関する お客様満足度の向上	お客様の声をもとに課題を特定し、関連部署と 連携して改善を継続。部品の代替、名称や素材 表記の見直しなどの取り組みに加え、お客様の 声に寄り添い、改善を適宜実施。
健全なガバナンス	健全なガバナンス体制	コーポレートガバナンス執行体制の第三者評価 (年1回)と課題への迅速な対応	第三者評価の実施に向け、自社専門部署におい て評価の方法やプロセス、評価体制の構築につ いて検討。今後、自己評価の具体的な進め方を 整理したうえで、第三者評価の実施に向けた基 盤を整備する予定。
		第三者による取締役会の実効性評価(年1回)と 課題への迅速な対応	第三者による取締役会の実効性評価と、課題に 対する改善策の整理を実施。
		独立社外取締役の半数以上の継続	独立社外取締役比率：60%
		役員層の女性・外国籍合計比率 25%以上	役員(執行役員以上)の女性・外国籍合計比 率：11%

2030

2050

# Sustainability Management

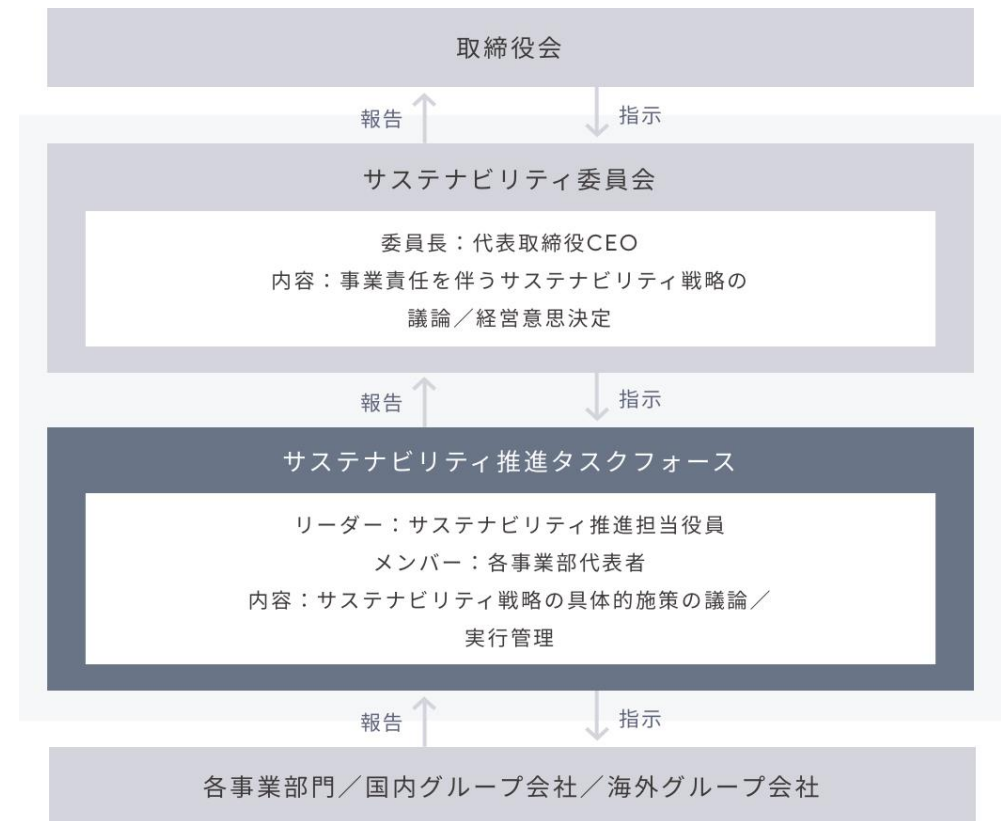
## サステナビリティ推進体制

JINSではグループ全体でのサステナビリティ活動を推進し、取り組みへの透明性を高めるため、サステナビリティ委員会を設置しています。

「サステナビリティ委員会」は代表取締役CEOを委員長とし、原則として年に2回開催しています。同委員会では、サステナビリティに係る全社戦略の決定や2030目標の設定や進捗のモニタリング等を行うと共に、同委員会の下部組織である「サステナビリティ推進タスクフォース」で起案した事項について審議・決定します。会議の過程では、社外有識者で構成された外部アドバイザリーボードにより、タスクフォースの諮問に対する答申やアドバイザリーを適宜仰ぎ、社外からの客観的な視点を経営に反映しています。また、重要事項については取締役会に適宜報告する体制とし、実効性のあるガバナンスを実現しています。

「サステナビリティ推進タスクフォース」は、リーダーをサステナビリティ推進担当役員とし、各事業部からの代表者で構成されます。同タスクフォースではサステナビリティに配慮した中長期的な企業戦略の策定を行うほか、各事業部やグループ各社での施策の実行を管理します。各事業部門ではそれぞれが管理責任を持ち、サステナビリティに係る企業戦略を部門方針や行動計画に落とし込みます。

JINSでは、持続可能な企業成長に向けた経営判断を迅速かつ公正に行い、各部門がサステナビリティへの取り組みを自律的に進めることができる体制を構築しています。



# Sustainability Management

## 外部からの評価



### MSCI ESGレーティング

MSCI ESGレーティングは、MSCIが企業の環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）におけるリスクマネジメントの程度を分析し、最上位ランクの「AAA」から最下位ランクの「CCC」まで7段階で評価するもので、ESG投資の世界的な評価指標とされています。JINSは、ESGへの取り組みや情報開示が高く評価され、最高評価の「AAA」を獲得しました。

2024 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

### MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数は、日本に上場する大・中・小型株を対象にしたインデックス「MSCIジャパンIMI指数」の構成銘柄のうち、ESG評価に優れた企業を各業種から選定している指数です。

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
ESGセレクト・リーダーズ指数

### MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数は、「MSCI日本株IMI指数」の構成銘柄のうち、ESG評価に優れた企業を各業種から選定している指数です。年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）のESGのパスシブ運用ベンチマークとしても採用されています。



### FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexは、グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが、ESG面で優れた日本企業のパフォーマンスを測定するために設計したインデックスです。



### DX認定

DX認定制度とは、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、「デジタルガバナンス・コード」に則ってDX実現に向けたビジョンの策定や戦略・体制の整備などDX推進の準備が整っている企業（DX-Ready）を認定する制度です。JINSは2022年4月1日に認定されました。



### PRIDE指標

任意団体「work with Pride」によって策定され、職場におけるLGBTQ+などのセクシュアル・マイノリティ（以下、LGBTQ+）への取り組みを評価する指標です。JINSは、性自認及び性的指向等にかかわらず多様な価値観を持った従業員が働きやすく、個々の能力を最大限発揮させられる就業環境を整えていくために「PRIDE指標」を基準に環境整備を推進。2022年時点では「シルバー」に認定されました。

### D&Iアワード2024

D&Iアワードは、株式会社JobRainbowの主催により、ダイバーシティ&インクルージョンに取り組む企業を認定するためのアワードです。JINSは2024年に「日本国内だけでなく世界的にも高い水準でD&I推進に取り組むD&I先進カンパニーで、D&Iの企業文化の醸成はもちろんのこと、社員一人ひとりがD&I推進を担う個として積極的に活動している。D&Iの理念は、サービスや事業、企業組織のあらゆる側面で反映され、それを今まさに社外にも波及している。」という評価の企業に与えられる最高位の「ベストワークプレイス」ランクに3年連続で認定されました。

## 参加しているイニシアチブ



### 国連グローバル・コンパクト

国連グローバル・コンパクト（United Nations Global Compact）は、国連と民間企業・団体が手を結び、健全なグローバル社会を築くための世界最大のサステナビリティイニシアチブです。JINSは、2022年11月17日に参加企業として登録されました。あわせて、UNGCに署名している日本企業などで構成される「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」に加入しました。



### 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）

TCFDは、G20の要請を受け、金融安定理事会（FSB）により設立されたタスクフォースです。企業などに対して、気候変動リスク及び機会に関する「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の項目について開示することを推奨しています。JINSは、2022年に気候変動への対応のためにシナリオ分析を実施。その結果を踏まえてTCFD提言への賛同を表明するとともに、提言に基づいて事業に影響を及ぼす気候変動のリスクと機会に関する情報を取りまとめた「TCFDレポート」を開示しました。



photo by Takumi Ota

# Topics of 2024

# 01 地域に新たな雇用を。 Satellite office 誕生

JINSは“第二創業”を掲げ、常識にとらわれず新しい価値を創っていくために様々な挑戦を続けています。2023年5月の東京本社移転につき、新たな拠点となる前橋馬場川オフィスの稼働を開始しました。これまでアイウェア事業に留まらず、創業の地である前橋を中心に地域課題に向き合い、共に成長することを目指し様々な活動に取り組んできたJINS。サテライトオフィス新設は、企業として価値創造の幅を広げると共に、地域に新たな雇用や移住者を生み、中心街の活性化に寄与します。また、拠点を増やして、首都圏直下型地震など有事の際に損害を最小限に抑え事業を継続させるBCP（事業継続計画）対策の強化を図ります。



## 02

メガネを無償提供

「JINS GO」が能登半島地震の被災地へ。

## メガネ移動販売車 「JINS GO」活躍中

令和6年能登半島地震における支援の一環として、移動式メガネ販売車「JINS GO」が石川県輪島市内避難所でメガネを無償提供しました。

地震によりメガネを破損・紛失しご不便な思いをされている方の一助となるよう、「JINS GO」を避難所へ派遣。合計14か所で約900名の方にメガネの無償提供と修理・調整を行いました。

「JINS GO」は、近隣にJINSの店舗がない場合や、ご高齢や病気などによりご来店が困難な方にJINSの商品やサービスをご提供できないという課題を解決するため、2023年に開始したメガネの移動販売車によるサービスです。JINSの基本サービスをすべてご提供できるよう改装した車椅子昇降機付き専用車両を使用し、お客様に来店いただくのではなく、JINS自らがお客様のもとへ訪問する新しい地域共生の形を実現しています。



## 03

「Gallery」をとくべつ開放。

## 新オフィスで体感する、 JINSのアート



2023年5月に新オフィスに移転したJINS。金沢21世紀美術館館長の長谷川祐子氏監修のもと、オフィス内各所へアートを導入しています。その一つが、5階の執務エリアに完成した、アジア初となる「Fabbrica dell'Aria®（ファブリカ デラリア）」。

普段はJINS社員や関係者のみが入れる3階ギャリースペースですが、特別に一般開放日を設け、地域の方々をはじめアートに触れていただく機会を生んでいます。



## 04 地域とつながる／ 環境に配慮した新店舗

### JINSイオンモール太田店

家族連れの多いJINSイオンモール太田店では、「積み木」をコンセプトに、大人から子どもまで誰でも入りたくなるような、楽しく親しみやすい店舗を目指しました。店内の壁面には、地元太田市出身のアーティスト・尾花賢一氏の「おしゃべりな壁」をテーマに描いたオリジナルのドローイング作品を展示します。待ち時間にも気づきやひらめき生まれ、豊かな体験につながって欲しいという想いが込められています。何気ない風景の描写一つひとつに込められた物語がワクワクする時間と賑やかさを演出します。メガネ選びに夢中になり、メガネの完成を待つ時間さえもワクワクするような楽しい気持ちでいっぱいになれる、プレイフルな店舗です。



### JINSイオンモール各務原店

JINSイオンモール各務原店がリニューアル。設計は、岐阜県内でも精力的に活動する、成瀬・猪熊建築設計事務所の成瀬友梨氏と猪熊純氏が担当。子どもから大人まで親しみやすく愛着が湧く店舗を目指すため、各務原の地形をモチーフに取り入れました。什器には岐阜県産の松間伐材による建材を使用することで、木の温もりを感じることができます。

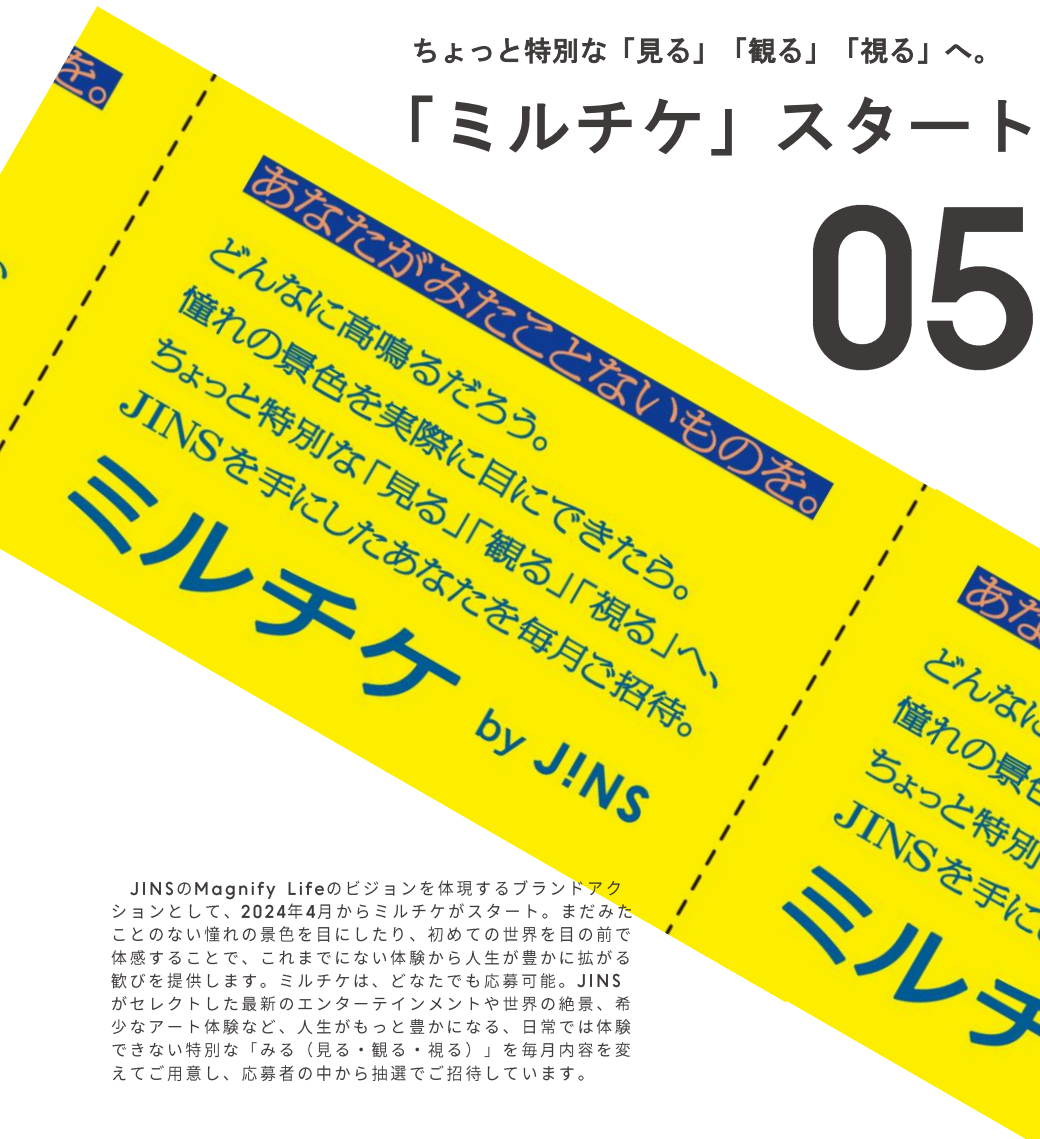


### JINSエスパルスドリームプラザ店

通路に接する3方位全てがガラスサッシという店舗の特徴を活かし、店舗をぐるりと囲んだイラストをガラスに施しました。制作したのは静岡県出身のイラストレーターのNaho Kuriyama氏。「不思議のまち、静岡」をテーマに静岡・清水をユーモラスに表現。南部の駿河湾から、静岡・清水の街や飛び立つ飛行機、北部のオクシズと呼ばれる静岡市の中山間地に広がる山や森へとつながる様子が描かれています。

ちょっと特別な「見る」「観る」「視る」へ。  
「ミルチケ」スタート

05



JINSのMagnify Lifeのビジョンを体現するブランドアクションとして、2024年4月からミルチケがスタート。まだみたことのない憧れの景色を目にしたり、初めての世界を目の前で体感することで、これまでにない体験から人生が豊かに広がる喜びを提供します。ミルチケは、どなたでも応募可能。JINSがセレクトした最新のエンターテインメントや世界の絶景、希少なアート体験など、人生がもっと豊かになる、日常では体験できない特別な「みる（見る・観る・視る）」を毎月内容を変えてご用意し、応募者の中から抽選でご招待しています。



子どもの睡眠をめぐる社会課題の解決を。

「寝る育」を開始

06

JINSは、より多くの方に睡眠について学ぶ機会を提供することで社会課題解決に貢献したいとの想いから、睡眠をめぐる社会課題解決に向けた取り組みの一環として「寝る育」を開始し、一般社団法人 日本睡眠協会（以下日本睡眠協会）と共同で、品川女子学院中等部および高等部へ睡眠に関する学習機会を提供しました。

生活リズムを振り返るワークショップや、講演等を交えながら、睡眠環境を整えるために取り組んでみたい行動を考えました。誰もが毎日経験する睡眠という事象を通じて、生徒自らが自分なりの仮説をもち検証、分析、発表することは、睡眠への関心を高めるだけでなく、探求的な学習の機会を増やすことにもつながります。今後もJINSは日本睡眠協会をはじめとする多様なステークホルダーとともに、睡眠をめぐる社会課題の解決に取り組んでまいります。

# 07

真のグローバルブランドをめざして。

## 最高の職場環境による 最高の顧客体験を

顧客体験の要である店舗において、質の高いサービスを持続的に提供し世界に通用する競争力を高めると共に、働く従業員にとっても最高の職場環境を整えることが重要と考えています。

近年、物価高騰が進み就業に専念できる環境や待遇を整備することが社会において急務となっています。そこで、店舗の正社員を対象に2024年4月（5月支給分）より月額基本給を15,000円増の245,000円〜とすることで、月額支給額を265,000円〜※1に改定。2023年9月の給与改定※2に続き今回の改定により、店舗正社員の月額基本給は前年2023年8月期と比較して最大13.9%の増加となりました。店舗で勤務する2024年度入社の新卒店舗社員の月額基本給はアイウェア業界でNo.1※3となりました。

今後もJINSは、社会の変化に柔軟に対応し、最高の職場環境を提供できるよう努めてまいります。

※1：月額支給額は月額基本給に諸手当などを含む金額です。

※2：2023年9月には月額基本給を15,000円増やし、月額基本給230,000円と月額支給額250,000円〜に改定。

※3：JINS調べ。2024年1月末時点のアイウェア大手13社の公開求人情報を調査。

# MSCI ESG RATINGS



「MSCI ESGレーティング」は、企業の環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）におけるリスクマネジメントの程度を分析し、最高評価「AAA」から「CCC」まで7段階で評価するもので、ESG投資の世界的な評価指標とされています。

JINSはサステナビリティビジョン「アイウェアを通して、未来の景色を変えていく。」を掲げ、社会課題解決のためビジネスを通じた社会価値創出に継続的に取り組んでおり、前回（2023年3月）は、それまでの「B」評価から4段階の格上げとなる「AA評価」を獲得しました。

今回（2024年3月）の格付けでは、代表的な製品のカーボンフットプリントの算定、従業員マネジメント、情報セキュリティなど、JINSのマテリアリティとして掲げている「環境への配慮」「人的資本の最大化と人権の尊重」「健全なガバナンス」に関する情報開示が高く評価され、初の最高評価「AAA」を獲得しました。

JINSはこれからも持続可能な社会の実現に向けて、サステナビリティへの取り組みを着実に進めていきます。

# 08

2年連続の格上げで最高評価へ。

## MSCI ESGレーティング 初の最高評価「AAA」獲得

# JINS SUSTAINABLE PRODUCTS 2024



JINS HOME



Light slim



JINS READING



Quick Fit Bold



JINS HOME  
Winnie the Pooh



JINS×BEAMS DESIGN  
-Toy Classic-

## JINS 2030目標

アイウェア（樹脂製品）の50%をサステナブル素材に

↑  
サステナブル  
素材比率：  
(2024年8月時点)

**30%**



サステナブル  
代表素材

**G850**

例：JINS HOME

非可食の作物であるヒマ（トウゴマ）種子から得られるひまし油を含んだアルケマ社の「Rilsan® Clear G850 Rnew®」。1年以上にわたる実用化検証を経てサステナブル製品が長らく課題としていた美観と強度のトレードオフを克服し、発色の美しさと耐久性・柔軟性を兼ね備えた素材を実現しました。